

大東小で落成記念式典  
新たな歴史を刻む校舎が完成

昨年4月に摺沢、渋民、曾慶の3小学校が統合し、新たに開校した大東小(戸田良一校長、児童247人)の落成式は、7月13日に開かれました。

式典には、児童、学校教職員のほか、地域住民など470人が参加。新たな歴史を刻んでいく学びやの完成を祝いました。児童会長の遠藤大誠くん(6年)は「校舎の完成を楽しみにしていました。笑顔の絶えない自慢の学校を目指して頑張ります」と喜びの言葉を発表し、出席者全員で校歌を斉唱しました。

校舎は、鉄筋コンクリート2階建てで4,106平方メートル。校舎、屋内運動場、プールなどは今年5月に工事が完了しました。



「新笹ノ田トンネルを実現させる会」設立総会  
5万人目標の署名活動スタート

「新笹ノ田トンネルを実現させる会」の設立総会は、7月18日に市役所で開かれました。大東町大原地区から陸前高田市矢作地区に続く笹ノ田峠(国道343)は、交通の難所として知られています。特に冬期間は、路面凍結などによって交通に支障をきたすことから、安心して通行できる道路整備が望まれてきました。同会は会長に宇部貞宏一関商工会議所会頭を選出。宇部さんは「沿岸部の復旧・復興と、地域経済や地域間交流を活性化させるため早期の実現を目指します」と抱負を語りました。同会では、本年10月末までに5万人を目標とした署名活動や決起大会を行い、国や県などに要望を行います。



セ市・留学生と千厩で初めての国際交流  
書道を通して千厩中生徒と心通わす

国際姉妹都市のオーストラリア・セントラルハイランズ市の高校生ら7人は7月3日、千厩中(伊藤一志校長、生徒334人)を訪れ、授業の見学や習字を体験しました。

千厩町での交流体験は、今年が初めて。習字の授業では「友」や「日本」のほか、自分の名前を片仮名で書くことに挑戦しました。留学生らは、ペアを組んだ生徒と交流しながら、初めての習字を楽しんでいました。アンジェラさんは「習字は、バランスをとるのが難しい。片仮名の名前を覚えたい」とはにかみ、ペアを組んだ伊藤みずきさん(3年)は「漢字の意味を教えながら、習字を伝えられました」と満足した様子でした。



千厩・夫婦石おいとこ大会  
地域に伝わる伝統の舞に拍手喝采

20回目を迎える「夫婦石おいとこ大会」は7月12日、千厩町のおいとこドームで開かれ、地域に伝わる踊りの競演に観客から大きな拍手が送られました。

この大会は、おいとこ踊りの継承と地域の活性化を目的に実行委員会が開催。今年は、市内、宮城県登米市や栗原市から18組48人が参加しました。参加者らは、独特のリズムに合わせ、美しい仕草を織り交ぜながら踊りを披露しました。

優勝経験がある千厩の岩淵百合雄さん(84)は「おいとこ踊りは、地域に伝わる大切な伝統芸能。いつまでも続けてほしい」と話してくれました。

鈴木サノエさん

Suzuki Sanoe



東山町長坂  
大正3年4月16日生まれ

1日1日を楽しみ気持ちで暮らす

32歳で多利吉さんと結婚。子2人、孫6人、ひ孫5人に恵まれました。手先が器用で、長年、和裁に従事しました。テレビに大声で声援を送るほどのプロ野球好きで、巨人の大ファンです。

家族に頼らず身の回りのことは自分でするサノエさん。家族みんなで同じ食事を取ることが健康の秘けつです。「思い通りにならないこともあるが、毎日楽しく暮らしたい」と話してくれました。

小岩トラミさん

Koiwa Torami



一関市弥栄  
大正3年5月7日生まれ

戦後の厳しい時代を乗り越えた働き者

昭和14年に茂さんと結婚し、子5人、孫13人、ひ孫13人がいます。満州で仕立て屋を、帰国後は農業を営んだ努力家のトラミさん。長寿の秘けつは「働くこと」ときっぱり。戦後の厳しい時

代を、一生懸命働きました。ゲートボールと菊作りが大好きで、天気がいい日は散歩をします。「大変な時期もあったけど、100歳を迎えられて幸せ」と笑顔を見せてくれました。

大友キト子さん

Otomo Kitoko



室根町矢越  
大正3年5月27日生まれ

愛する家族との会話が長寿の秘けつ

キト子さんの元気の秘けつは会話をする事。好き嫌いを気にせず3食しっかり食べて、規則正しい生活を心がけることが健康の源です。100回目の誕生日は、弟の白義さん(96歳)と家族で

お祝い。甥の仁さん(71歳)は「おばから学んだことはたくさんある。長生きしてくれたい」とにっこり。キト子さんは「みんなが集まったから元気になった」とうれしそうでした。

重ねた年月、刻んだ年輪  
百年目の寿

大正・昭和・平成一。  
激動の時代を駆け抜け、  
歩んできた1世紀の軌跡。  
5人が迎えた100回目の誕生日は、  
家族の愛と優しい笑顔で溢れていました。

清野正三さん

Seino Masami



大東町字摺沢  
大正3年5月20日生まれ

地域の人たちに慕われた優しい歯科医

29歳で哲子さんと結婚。29歳で哲子さんと結婚。子供4人、孫9人、ひ孫9人がいます。満州で終戦を迎え、帰国後は80歳まで歯科医を続けました。地域の皆さんに慕われる優しい先生でした。

趣味はアユ釣りや山菜採りで、長寿の秘けつは60年間欠かさず食べている奥さん手作りの「ニンニク卵黄」です。「妻や家族の支えがあって長生きできた」と感謝していました。

鴨田昌さん

Kamota Masa



一関市滝沢  
大正3年6月26日生まれ

戦争を前線で戦った強さで生き抜いた

ビルマ戦に出兵した経験がある昌さんは「明日が見えない日もあったが、幸運が重なって長生きできた」と振り返ります。昼間は草取りや野菜を育てて過ごし、晩酌を欠かし

せん。民謡を聞いたり、歌ったりすることが大好きな昌さん。長寿の秘けつは何でも食べることです。娘の志美さんは「長生きしてくれてうれしい。いつまでも元気でいてほしい」と話していました。